

観海アルプス念珠嶽連峰烏帽子岳(465m)
に新登山ルート開設(天草山岳会)

国立公園・九州自然歩道(1/2.5万地形図)



東側から念珠嶽(503m)



東側から烏帽子岳(465m)2009



H17(2005)6.5(日)快晴 11名参加

1号車-K, Kh, S, Sh

2号車-U, T, H, Ta

3号車-O, F, N

9:05 市役所出発,10:30 大作山登山口,11:00 大作山休憩,12:25 分岐(シライトソウ満開),12:40 念珠嶽(弁当),13:30 下山開始,14:30 烏帽子岳分岐(やぶこぎ開始),14:50 烏帽子岳登頂(眺望最高),15:10 分岐,16:00 林道,16:20 龍ヶ岳展望台,16:35 出,17:45 市役所解散

地区の一汗運動のため出発がいつもより一時間の遅れとなる。棚底から林道大作山(おおさこやま)線を通り、棚田百選に選定された大作山棚田を見る。

大作山林道登山口に車を置き登り始める。このルートは九州自然歩道に沿い天草に残された貴重な縦走路。緩い登りで稜線に出て大作山で休憩する。大作山は私が命名したが四等三角点の点名は「暮迫(くれさこ)」となっている。松の間から西に倉岳、南に龍ヶ岳、少し北へ進むと登山道から烏帽子岳が見える。山頂から東側が垂直に切れ落ちた大岩壁になっていて、この山には登山道はないがやぶこぎで登る予定だ。

烏帽子岳西側の水平歩道を通りシライトソウの群生地に着いた。シライトソウは念珠嶽の西側歩道沿いに群生して白い糸状の花が満開だった。開花の時期は5月下旬から6月上旬で、甘い蜜のような香りが辺りに漂う。Tさんの案内で開花の時期に対面できたのは幸運だった。天草アルプス地域は国立公園に指定されているので草木の採取は禁止されている。移植しても環境が異なると枯れてしまうので撮るのは写真だけにしてほしい。Taさんによれば本町柱岳の東斜面に群生地があるので次の機会に見にゆくことにした。

念珠嶽への分岐から急な斜面を登り念珠嶽山頂へ到着し弁当を食べる。快晴の空のもと風があり気持ちが良い。しばらく休憩して下山に入る。

登山道から烏帽子岳(465m)2009



念珠嶽山頂 2005



烏帽子岳山頂 2005



シライトソウ満開 2008



大作山から念珠嶽へ続く九州自然歩道の中に烏帽子岳(465m)がある。山頂までの登山道はなくやぶこぎを覚悟してきた。水平歩道が烏帽子岳の西側山腹を回り込む尾根のところから登り始める。深いウラジロを掻き分けて目印紐を結びながら木立の間を進むと山頂部は枯葉が落ちて歩きやすくなり、右側の高い方へ進むと山頂に大岩があった。大岩は円形でシャリンバイなどの低木に囲まれ、その東側はスッパリと切れ落ちた大岩壁となっている。大岩から素晴らしい眺望が広がる。水平歩道の分岐点に会の旗を結んできた。「もう少し道を良くして標識を立てたら素晴らしい山になるね」などと話しながら下山した。

平成20年烏帽子岳登山口に標識設置、年ごとに踏み跡が明瞭になってきた。

この季節に見られる植物、昆虫、鳥類など
□シライトソウ、トンボソウ、ソクシンラン、ナルコユリ、カンアオイ、タツナミソウ、ギンリョウソウ、ワレモコウ、ネジキ、ミヤマウズラ、オオバギボシ、ツツジ、ハリギリ、ネジキの花

□アサギマダラ、オオルリ

□ソウシチョウ、ウグイス、ホトトギス、ホオジロ、イワヒバ、コゲラ、メジロ

登山記録

H16(2004)8.22(日)曇晴 8名参加 大作山林道
登山口-念珠嶽-大谷林道登山口(5H30m)

H17(2005)6.5(日)快晴 11名参加 大作山林道
登山口-念珠嶽-烏帽子岳-大作山(5H30m)

H18(2006)6.4(日)晴 7名参加-大作山-念珠嶽-
烏帽子岳-大作山 (7H0m)

H19(2007)5.20(日)晴 4名参加-大谷林道登山
口-念珠嶽往復(6H0m)

H20(2008)6.1(日)晴 8名参加-大作山-念珠嶽-
烏帽子岳(看板設置)-大作山(6H15m)

H21(2009)6.7(日)晴 3名参加-大作山登山口-
念珠嶽-烏帽子岳-大作山登山口(5H15m)

H22(2010)6.6(日)晴 2名参加-大谷林道登山
口-念珠嶽途中-自然歩道標識の間違いに赤布
取付 (N)